

甲状腺疾患診断フロー（主に甲状腺腫・甲状腺機能状態から ー 内科系を中心にー）

甲状腺機能亢進症の疑い

前頸部腫脹、燥熱症状(イライラ)、手指振せん、動悸、息切れ、長期間続く微熱、多汗、下痢、体重減少(食欲・摂食増加)、眼球突出、学力低下、筋力低下、胃・十二指腸潰瘍、生還不順、流・早産

甲状腺腫大(弾性軟)、手指振せん、やせ・体重減少、頻脈・不整脈(心電図)

総コレステロール(Tcho)=↓、中性脂肪(TG)=↓、赤血球↑、尿糖=+、K=↓、CK(クレアチンフォスホキナーゼ)=↓、骨型アルカリフォスファターゼ(ALP)=↑、ALT and/or AST=↑

甲状腺機能低下症の疑い

自覺症狀

前頭部腫脹、うつ様症状、動作・言語緩慢、易疲労感、寒がり、皮膚乾燥、便秘、体重増加、顔面(まぶた)のはれ、集中力欠如、脱毛、消化管機能低下に基く慢性胃炎、生理不順(6ヶ月以上の無月経は不妊に注意)、流・早産

検診で 発見

甲状腺腫大(弾性硬)、顔・手のむくみ、体重増加、徐脈・低電位(心電図)

総コレステロール(Tcho)=↑、LDLコレステロール=↑、
CK(クレアチンフォスホキナーゼ)=↑、尿中クレアチニン↑、尿酸=↑、
腎臓反応=↑、γ-グロブリン=↑

年令

壮年期

・橋本病(甲状腺機能低下初期)、
亜急性甲状腺炎

更年期

橋本病(甲状腺機能低下症を伴う)

華老年期

橋本病(甲状腺機能低下症著明)

老年期

甲状腺萎縮を伴う甲状腺機能低下症、橋本病は悪性リンパ腫への移行に注意

バセドウ病疑

一次スクリーニング⇒肝機能、腎機能、心機能、コレステロール、CK、カリウム、尿酸、末梢血血液一般
他疾患の除外⇒肝疾患、腎疾患、心疾患、骨疾患、糖尿病、眼疾患、精神科、婦人科疾患、胃腸疾患

TSHレセプター抗体 (TRAb)
TSH刺激性レセプター抗体 (TSAb)

橋本病(慢性甲状腺炎)疑

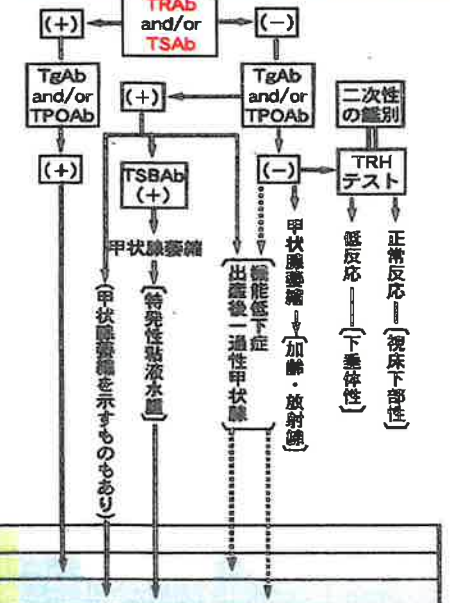
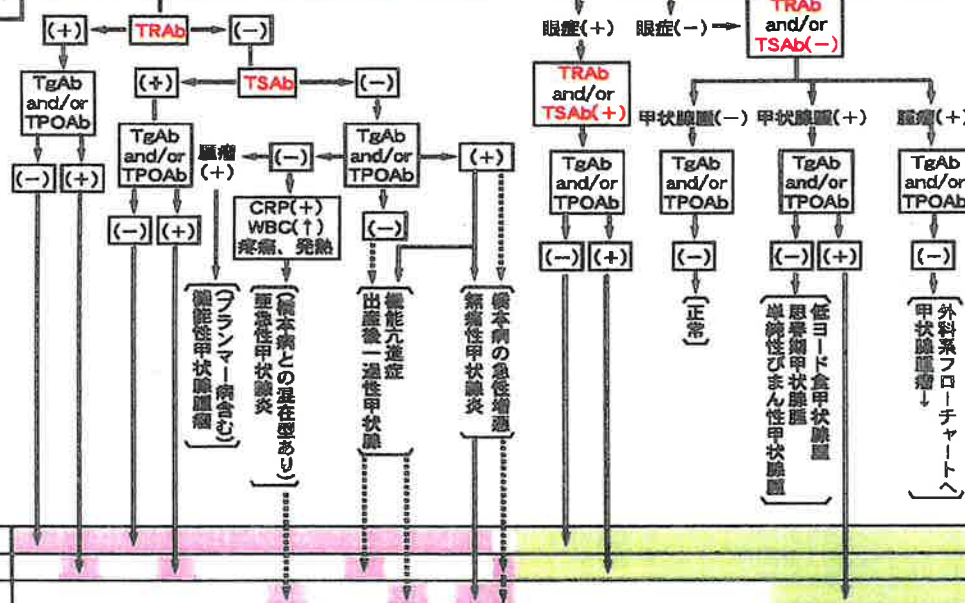
抗サイログロブリン抗体 (TgAb)
抗甲状腺ペルオキシターゼ抗体 (TPOAb)
TSH作用阻害型抗体 (TSBAb)

一、甲状腺機能状態

TSH = ↓ FT4 (and/or FT3) = ↑ (亢進症)

TSH $\rightarrow$ FT₄ (and/or FT₃) $\rightarrow$ (正常)

TSH = $\uparrow$ FT₄(and/or FT₃) = $\downarrow$ (低下症)



自身免疫性 甲状腺疾病

1. バセドウ病
2. バセドウ病
3. 橋本病